



D500 Professional テクニカルガイド





操作性向上編	5
ボタンによく使う機能を割り当てたい CHEOK IT OUT Y	б
よく使うメニュー画面をワンタッチで表示させたい	
撮影場面に応じたフォルダーをあらかじめ作成しておき	たい…12
● 野球のイニングごとにフォルダーを分けて撮影する	
撮影編	15
ホワイトバランスについてもっと知りたい	16
● ホワイトバランスの設定について	
 電球色照明下でのオートホワイトバランスの 	10
オノショノについて Gitch in DUTY	
シャッタースピードと絞り値を維持して適正露出で撮影し	たい20
白とびや黒つぶれを抑えて撮影したい	
多重露出で[合成モード]の効果が知りたい	22
連写時の露出を安定して撮影したい	23
フリッカー現象の影響を低減して撮影したい CHECK IT OUT	1 24
撮影音を抑えて撮影したい	
 ● 静音撮影	
 動画から静止画を作成する 	
レンズの VR の SPORT モードについて詳しく知りたい	29
● SPORT モードの特長	
● SPORT モードと NOMAL モードの使い分け	

再生編	33
必要な画像を素早く探したい	34
 ● 画像を右手で素早く表示させるには 	
● 画像を素早く探すには CHECK IT OUT ✓	
● ピントを素早く確認するには	
● 必要な画像に印をつけるには	
ネットワーク編	43
画像に IPTC 情報、画像コメント、	
著作権情報を添付したい	44
● HTTP サーバーモードの「文字情報編集」について	
● IPTC プリセットについて	
送信できている画像なのかをパソコン上で確認したい	46
アクセサリー編	47
複数のカメラのシャッターをリモートできりたい	
(連動レリーズ機能)	48
● 連動レリーズモード設定について	
● 連動レリーズで撮影した画像の送信について	

操作性向上編

ボタンによく使う機能を割り当てたい

このカメラに装備されている Fn (ファ ンクション) などのボタンは、カスタム メニュー行! [カスタムボタンの機能] で自分の好みの機能を割り当てること が可能です。メニューにアクセスするこ となく、ボタン操作だけで機能を切り替 えられるため、操作性が向上します。



ボタンを押したときの機能

・ 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。





 別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 を装着した場合、f10 [MB-D17 のボタンの機能] で MB-D17 の Fn ボタンまたは AF-ON ボタンに機能 を割り当てられます。



各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

	D500				MB-D17			
	Pv	Fn1	Fn2	AF-ON	۲	ĿFn	Fn	AF-ON
PRE プリセット		-			-	-	-	
フォーカスポイント		•	_	—	•	•		-
[''] AF エリアモード			—				—	
回日 AF エリアモード +AF-ON			—				—	
⑦ プレビュー			—	—		—		—
≱L FV-L			—	—		—		—
AE-L/AF-L			—				—	
Ma AE-L			—				—	
♪●AE-L(レリーズでリセット)			—			—		
▲●AE-L(ホールド)			—			—		
In AF-L			—				—	
AFON AF-ON			—				—	
③/\$\$ 発光禁止 / 許可切換			—	—			—	—
BKT型BKT自動連写			—	—		—	—	—
+IAWI プラス RAW 記録			—	—		—		—
図 マルチパターン測光簡易設定			—	—		—		_
◎ 中央部重点測光簡易設定			—	—		—		_
□ スポット測光簡易設定			—	—		—		_
□* ハイライト重点測光簡易設定			—	_		—		_
一 一 ファインダー内格子線表示			—	—		—		_
⊖ ファインダー内水準器			—	—		—	—	_
┗ー髱連動レリーズ切り換え			—	—			—	—
退 マイメニュー				—		—		_
『 🗟 マイメニューの				_				_
トップ項目先へジャンプ								
▶ 再生			—	_		—		
★ レーティング	—	—		—	—	—	—	—

ボタンによく使う機能を割り当てたい



<u>ボタンを押しながら</u> コマンドダイヤルを回したときの機能

機能を割り当てられるボタンは次の通りです。



 ・別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 を装着した場合、f10 [MB-D17 のボタンの機能]の[Fn ボタン+■]で MB-D17 の Fn ボタンに機能を割り当てられます。

8

各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

			۵	050	0		MB-D17
		Py	fn]	Q	BKT	R	Fn + 🌫
	撮像範囲選択				—		
()⊜ []	シャッタースピードと絞り値の ロック	•	•	•	_	•	•
()⊗	シャッター・絞り値1段選択			—	—	—	
Non-CPU =	手動設定済みレンズの選択				—	—	
E i	アクティブ D- ライティング設定			—	—	—	
©DLY	露出ディレーモード			—	—	—	
SHOOT	静止画撮影メニュー切り換え				—		
MODE	露出モード	-	—	—	—		
BKT	オートブラケティング	-	—	—		—	—
	多重露出	-	—	—		—	—
HDR I	HDR(ハイダイナミックレンジ)	-	—	—		—	—
	設定しない						
ISO I	ISO 感度	-	—	—	—	—	
	露出補正	—	—	—	—	—	
80. ;	測光モード	-	—	_	_	—	

押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作が。 併用できない場合

[プレビューボタン] と [プレビューボタン+気] のように、 同じボタンに押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作 を設定できるボタンでは、両方の機能を同時に設定できない 場合があります。その場合は後に設定された機能が有効にな り、先に設定していた内容が [設定しない] に変更されます。 よく使うメニュー画面を ワンタッチで表示させたい

カスタムメニュー f1 [カスタムボタン の機能]で[図 ブレビューボタン]に[マ イメニューのトップ項目先へジャンプ] を割り当てておくと、Pv ボタンを押し てマイメニューの最上位に登録してあ るメニュー画面を表示させることがで



きます。カスタムボタンに直接割り当てられない機能でも、ワン タッチでメニュー項目を表示させることが可能です。

- ここでは例として、マイメニューのトップ項目に[記録フォル ダー設定]を登録します。
- 1 マイメニュー[マイメニュー登録]
 の [静止画撮影メニュー] で [記録フォルダー設定]を選んで ∞
 ボタンを押す



- [登録位置設定] で一番上の位置 を選ぶ
 - ・メニューの並び順は[登録項目の順序変更]で後から変更することも可能です。





3 カスタムメニュー f1 [カスタム ボタンの機能] で [図 プレビュー ボタン] を選ぶ

> Fn1ボタン、Fn2ボタン、サブ セレクター中央にもこの機能を 割り当てられます。



別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 を装着した場合、f10 [MB-D17 のボタンの機能] で MB-D17 の Fn ボタンに割り当てることもできます。





・撮影時、再生時、メニュー表示時に Pv ボタンを押すと [記録フォ ルダー設定] の設定画面が表示されます。





撮影場面に応じたフォルダーを あらかじめ作成しておきたい

撮影画像はメモリーカードの記録フォ ルダー内に保存されます。このカメラ では、フォルダー番号とフォルダーグ ループ名を編集できるため、サッカー の前半、後半、野球のイニングなど、 場面ごとに名前を変えたフォルダーを あらかじめ作成しておくと、撮影後の 整理がしやすくなります。



野球のイニングごとにフォルダーを分けて 撮影する

場面ごとのフォルダーを作成するには、静止画撮影メニュー [記録フォルダー設定]の[フォルダーグループ名変更]と[フォルダー 番号指定]を使います。

1回の表と裏のフォルダーを作る

2 [フォルダーグループ名変更] を選び、表を表す5文字の 任意の文字(_TOP_など) を入力して ⊗ ボタンを押す



- [フォルダー番号指定]で 100 と設定する
- ボタンを押すと、「100_TOP_」 フォルダーが作成されます。



3 [フォルダーグループ名変更] を選び、裏を表す 5 文字の 任意の文字(_BTM_など)を入力して ® ボタンを押す

4 [フォルダー番号指定] で 101 と設定する

- ・ ❷ ボタンを押すと、「101_BTM_」フォルダーが作成されます。
- フォルダーグループ名が異なっていても、同じ値のフォル ダー番号を設定することはできません。

<u>2回の表と裏のフォルダーを作る</u>

- [既存フォルダーから選択]で _TOP_を選択し、[フォルダー 番号指定]で200と設定する ・®ボタンを押すと、「200 TOP」
 - フォルダーが作成されます。
- 2 [既存フォルダーから選択] で
 _BTM_を選択し、[フォルダー 番号指定] で 201 と設定する
 - ボタンを押すと、「201_BTM_」 フォルダーが作成されます。
 - この操作を繰り返して9回までの 表裏のフォルダーを作成します。

撮影時は、[既存フォルダーから選択] で場面に相当するフォルダーを選択して 撮影を行ってください。





	記録フォルダー設定
-	既存フォルダーから選択
-	100_T0P_
	101_BTM_
-	200_T0P_
Ţ	201_BTM_
	300_TOP_
1	301_BTM_
	400_T0P_



ホワイトバランスについて もっと知りたい

ホワイトバランスを初期設定の AUTO(オート)に設定しておくと ほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色 みにならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを 変更してください。

●ホワイトバランスの設定について

このカメラで設定できるホワイトバランスの項目は次の通りです。

ホワイトバランス		設定される 色温度 ^{**}	内容		
AUTO	オート AUTO0 白を優先する AUTO1 標準	約 3500 ~ 8000K	カメラが自動的にホワイトバラ ンスを調節し、ほとんどの光源 に対応できます。また、別売の スピードライト使用時は、フ ラッシュ発光時の条件に応じて 適したホワイトバランスに調整		
	AUTO2 電球色を残す		されます。種類の違いは <u>18 ペー</u> <u>ジ</u> を参照してください。		
*	電球	約 3000K	白熱電球下での撮影に適してい ます。		
***	蛍光灯	—	蛍光灯など、次の 7 種類の光源を 使った撮影に適しています。		
	ナトリウム灯 混合光	約 2700K	野球場、体育館などのナトリウ ム灯の混合光を使った撮影に適 しています。		
	電球色蛍光灯	約 3000K	電球色蛍光灯下での撮影に適し ています。		
	温白色蛍光灯	約 3700K	温白色蛍光灯下での撮影に適し ています。		

ホワ	フイトバランス	設定される 色温度 ^{**}	内容
	白色蛍光灯	約 4200K	白色蛍光灯下での撮影に適して います。
	昼白色蛍光灯	約 5000K	昼白色蛍光灯下での撮影に適し ています。
	昼光色蛍光灯	約 6500K	昼光色蛍光灯下での撮影に適し ています。
	高色温度の水 銀灯	約 7200K	高色温度の水銀灯などを使った 撮影に適しています。
☀	晴天	約 5200K	晴天の屋外での撮影に適してい ます。
4	フラッシュ	約 5400K	別売のスピードライトを使って 撮影する場合に適しています。
2	曇天	約 6000K	曇り空の屋外での撮影に適して います。
₿⊾	晴天日陰	約 8000K	晴天の日陰での撮影に適してい ます。
К	色温度設定	約 2500 ~ 10000K	色温度を直接指定できます。
PRE	プリセット マニュアル	_	撮影者が被写体や光源を基準に ホワイトバランスを合わせた り、メモリーカード内の画像と 同じホワイトバランスで撮影し たりできます。設定方法は <u>19ペー</u> ジを参照してください。

※ 微調整を行っていない場合の値です。各ホワイトバランスは微調整を行って、色みを調整できます。

電球色照明下でのオートホワイトバランスのオプションについて (2013)

このカメラのホワイトバランス[AUTO] には、[AUTO0 白を優先する]、[AUTO1 標準]、[AUTO2 電球色を残す]の3つ の項目が用意されています。電球を光 源とする環境で撮影する場合、電球色 を残さず補正する場合は [AUTO0 白を



優先する]、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げたいときは [AUTO2 電球色を残す]をおすすめします。



AUTO0 白を優先する



AUTO1 標準



AUTO2 電球色を残す

プリセットマニュアルデータの取得について

ライブビュー時にプリセットマニュアルデータを取得すると、画像モニターに表示されている被写体の白、またはグレーの部分で プリセットマニュアルデータを取得できます。

ホワイトバランスを [プリセットマニュアル] に設定して、ライブビュー表示中に WB ボタンを押し続けるとプリセットマニュアル取得モードになります。画面の PRE が点滅中に、画像モニターにタッチすると、タッチ



した位置に□が移動してプリセットマニュアルデータを取得で きます。 ¶ボタンを押すと、□で選択された部分が拡大します。

- ・WBボタンを押すとプリセットマニュアル取得モードを終了します。
- 静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー「ホワイトバランス]の「ブリセットマニュアル」を選ぶと、プリセットマニュアルデータを確認できます(d1-d6)。ライブビューで取得したプリセットマニュアルデータにはタッチした部分の口が表示されています。



ホワイトバランスがプリセットマニュアルモードのとき、 WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと d1-d6を切り替えることができます。 シャッタースピードと絞り値を 維持して適正露出で撮影したい

静止画撮影メニュー[ISO 感度設定] の[感度自動制御]を[する]に設定 しておくと、日なたと日影が混在する 環境で撮影する場合など、周囲や被写 体の明るさが変わるときでも、カメラ が自動的に ISO 感度を変更します。こ のため、露出モードをMでシャッター スピードと絞り値を設定した場合でも、 その値を維持したまま適正露出で撮影 できます。

 「制御上限感度」を設定すると、感度 自動制御するときに ISO 感度が高く なりすぎないように、上限感度 (200 ~ Hi 5)を設定できます。ノイズを 抑えたい場合などに設定します。ISO 感度の下限は [ISO 感度]で設定した ISO 感度になります。





- 「制御上限感度」で設定した ISO 感度よりも [ISO 感度] で設定した ISO 感度が高い場合、[ISO 感度] で設定した値を制御上限 感度として撮影します。
- 「感度自動制御」の「する」または「しない」の切り換えは、ISOボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回しても行えます。「感度自動制御」の設定は表示パネルとファインダー内表示で確認できます。



白とびや黒つぶれを抑えて撮影したい

暗い室内から外の風景を撮影したり、 直射日光の強い海辺など明暗差の激し い景色を撮影するときは、[アクティブ D-ライティング]を使うことで、ハイ ライト部の白とびを抑え、暗部の黒つ ぶれを軽減し、見た目のコントラスト に近い画像を撮影できます。

Þ	アクティブD-ライティング
	喧 オート
	噛Ҥ より強め
4	喵H 強め
	- In The Table State S
	- 聞 L 認 の
1	しない
?	



しない



町A オート

- [**昭**Aオート] に設定すると撮影シーンに応じて自動的に効果の 度合いが設定されます。
- 測光モードはマルチパターン測光に設定して撮影することをお すすめします。
- ・露出モードが M のときは [昭Aオート] に設定しても [昭N標準] 相当の度合いに固定されます。
- ・高感度撮影時にはノイズが目立ちやすくなる場合があります。

╱ボタン操作でアクティブ D- ライティングを切り替える —

カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] で任意のボタン に [アクティブ D- ライティング設定] を割り当てておくと、 撮影時に設定したボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す だけでアクティブ D- ライティングの設定を切り換えられます。

多重露出で[合成モード]の 効果が知りたい

このカメラの多重露出撮影では、[**合成モード**]を選択できます。 合成モードには次の種類があります。多重露出撮影の目的や環境 に合わせて設定してください。



連写時の露出を安定して撮影したい

被写体の動きや明るさが変わる場面で、露出モードを M 以外に設 定して連続撮影をするとコマごとに露出(明るさ)が変わってし まうことがあります。露出を安定させて撮影するには、次の機能 を使用します。

<u>カスタムメニュー b5[マルチパターン測光]:</u> [顔認識しない]

測光モードがマルチパターン測光の場 合、カスタムメニュー b5 [マルチパター ン測光]を[顔認識する]に設定してカ メラが顔を認識すると、顔を優先して測 光を行います。ただし、人物の動きが激 しいスポーツ撮影などでは常に顔が正面



に向いているわけではありません。またゴーグルやヘルメットなどを装着すると顔認識がしにくく、露出が一定にならないことがあります。このような場合にマルチパターン測光で安定した露出を得るためには、[顔認識しない]にすることをおすすめします。

<u>カスタムメニュー c1[シャッターボタン AE ロッ</u> <u>ク]:[する(連続撮影時)]</u>

動いている被写体を連続撮影する場合、 被写体や背景などの明るさの変化に よって露出が一定にならないことがあ ります。カスタムメニュー c1 [シャッ ターボタン AE ロック] を [する(連続 撮影時)] に設定すると、シャッターボ



タンを半押し時には AE ロックは行わず、全押ししたときに(実 際にシャッターが切れるタイミングで)AE ロックを行います。こ れにより、連続撮影時の露出を一定にすることができます。



蛍光灯をはじめとする一部の人工照明 下で撮影すると、照明の明滅による明 るさのちらつき(フリッカー現象)に よって画像の一部に露出ムラが生じた り、連続撮影時に露出や色みにばらつ きが生じることがあります。フリッカー 低減機能を使うと、フリッカーの周期 を検知し、露出や色合いへの影響が少ないタイミングでシャッターがきれる ように撮影のタイミングをずらします。

 フリッカー低減機能を使うには、静止 画撮影メニュー [フリッカー低減]の [フリッカー低減機能]を[有効]に します。











[有効]



[無効]

「フリッカー検出の表示」を「する」
 に設定すると、フリッカーを検出しているときにシャッターボタンを半押しした場合、FLICKER検出アイコンがファインダー内に表示されます。



FLICKER 検出アイコン

・各設定時の効果と、FLICKER 検出アイコン表示の関係は次の通りです。

設	定	効	果	フリッカー
[フリッカー	[フリッカー	フリッカー	レリーズの	検出時の
低減機能]	検出の表示]	低減	タイミング	アイコン表示
[無か] [する]			星ン郷ナロー	点滅表示
[/// //]	[しない]	0/401	影音はし	表示なし
「右动]	[する]	 7 7	遅れる	点灯表示
	[しない]	90	可能性あり	表示なし

ライブビュー表示中および動画記録時のフリッカー低減については、動画撮影メニュー[**フリッカー低減**]で設定します。

フリッカー現象の影響を低減して 撮影したい

_ 静止画撮影メニュー[フリッカー低減]について ―

- フリッカー低減機能を使うと、光源によってシャッターのき れるタイミングが少し遅れることがあります。また、連続撮 影時は撮影速度が遅くなったり、撮影間隔が一定ではなくな ることがあります。
- 電源周波数が 50Hz の場合は 100Hz の点滅周期を、また電源周波数が 60Hz の場合は 120Hz の点滅周期を検出します。
 連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- ・背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や 撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フ リッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減 機能の効果が得られないことがあります。
- 増灯時を除くフラッシュ撮影では、フリッカー低減が機能します。

静止画撮影メニュー [フリッカー低減] の制限について –

次の場合など、静止画撮影メニュー [**フリッカー低減**] が無 効になります。

- レリーズモードが MUP (ミラーアップ撮影)の場合
- ・露出ディレーモードが有効の場合
- シャッタースピードが 1/100 秒より低速の場合や、bulb (バルブ)または・・(タイム)の場合

撮影音を抑えて撮影したい

舞台の撮影や、インタビュー時、動物を撮影するときなど、カメラ の撮影音を抑えて撮影したいときは、静音撮影を使うと便利です。

● 静音撮影

撮影時のミラーダウン音が1コマ撮影に比べて静かになります。 シャッターボタンを全押ししている間はミラーダウンせず、シャッ ターボタンを半押し状態に戻すとミラーダウンするため、ミラー ダウン音のタイミングを遅らせることができます。ライブビュー 撮影時には、ミラーアップ音がないためより静かになります。

 レリーズモードダイヤルロックボ タンを押しながら、レリーズモー ドダイヤルを回してQ(静音撮影) を選んでください。



静音連続撮影に設定する。

レリーズモードダイヤルを回し て Qc(静音連続撮影)に設定す ると、シャッターボタンを全押 ししている間、約3コマ/秒で 連続静音撮影します。



● 動画から静止画を作成する

動画で撮影を行い、動画のフレームを静止画として切り出せば、撮 影時には撮影音を出さずにすみます。[選択フレームの保存]を使 用すると、選択した動画の1フレームを切り出して、JPEG 画像と して保存します。



- ・ 画質モード [**FINE ★**] の JPEG 画像を作成します。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

レンズの VR の SPORT モードについて 詳しく知りたい

ー部のレンズには、VRモードにSPORTモードが搭載されています。 このカメラは、これまでのカメラよりも連続撮影時のファインダー 像の見え方が安定しているため、レンズのVRのSPORTモードと 組み合わせて使用することにより、高速連続撮影中の被写体の追 いやすさが更に向上します。



- SPORT モードが搭載されているレンズ

- AF-S NIKKOR 300mm f/4E PF ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 200-500mm f/5.6E ED VR

※2016年4月現在

レンズの VR の SPORT モードについて詳しく知りたい

SPORT モードの特長

- 動きの変化が激しい被写体を撮影するときに不要なブレのみを 除去し、自然なファインダー像で撮影できます。
- 手持ち撮影で、一脚を使っているかのような安定したファイン ダー像で撮影できます。
- ファインダー像が安定しているため、高速連続撮影時の被写体 を追いやすくなります。
- ・ 流し撮り時にも被写体を追いやすくなっています。
- このカメラとの組み合わせでは、連続撮影速度が低下したりレ リーズタイムラグが長くなることはありません。

SPORT モードで撮影した場合

自然で安定したファインダー像を実現します。



NORMAL モードで撮影した場合

手ブレを強く補正するため、レンズを動かしたときにファインダー 像が不自然になる場合があります。



SPORT モードと NOMAL モードの 使い分け

	SPORT	NORMAL
適している被写体	動体	静止体
動体撮影時のファインダー像	自然	不自然
連写時の違和感	なし	あり

SPORT モードは、動体撮影を行うスポーツ、航空機、野鳥な どのシーンにおいて、ファインダー像の安定性と手ブレ補正 効果のバランスを実現した機能です。風景や静止画被写体の 撮影などで、より強い手ブレ補正効果を必要とする場合には NORMAL モードのご利用をおすすめします。



必要な画像を素早く探したい

このカメラの画像モニターは、タッチパネルを採用しており、従 来のマルチセレクターやボタン操作などによる画像切り換えや拡 大操作に加え、再生時に指で画面をフリックして画像を切り換え たり、画面をダブルタップして画像を拡大することができます。 これによって、画像を探す、ピントを確認するという一連の行為 を素早く行うことができます。また、プロテクトアイコンやレー ティングを設定することで、必要な画像に目印をつけることがで きます。

タッチパネルの操作方法

タッチパネルの操作方法は次の通りです。			
フリック タッチパネルを指で左右に払 う操作です。			
スライド タッチパネルに触れたまま指 を上下左右に動かす操作です。			
広げる / つまむ タッチパネルに 2 本の指を触 れたまま、指の間隔を広げた り、つまむように狭めたりす る操作です。			
ダブルタップ タッチパネルを素早く2回 タップします。			

● 画像を右手で素早く表示させるには

カスタムメニュー f1 [カスタムボタン の機能](P6)で [面Fn1ボタン]に[再 生]を割り当てておくと、左手の撮影 姿勢を保持したまま右手の操作のみで 画像を再生できます。





- Pvボタン、サブセレクター中央にも機能を割り当てることができます。
- ・別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 を装着した場合、 f10 [**MB-D17 のボタンの機能**] で MB-D17 の **Fn** ボタンに割り 当てることもできます。

 ・ 画像モニターを左右にフリックする と、前後に画像を送ることができます。



 1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンス バーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指 を左右にスライドすると、画像を高速で送ることができます。





フレームアドバンスバー

マルチセレクターの ③③ を押して前後に画像を送ります。
 ●④ を長押しすると、画像を高速で送ることができます。

, コマンドダイヤルでコマ送りするには —

- カスタムメニュー「4 [コマンドダイヤルの設定]の[再生/ メニュー画面で使用]で[する]を選ぶと、1 コマ表示時に コマンドダイヤルを回してコマ送りを行えます。
- ・f4 [コマンドダイヤルの設定]の [サブコマンドダイヤルで 画像送り] でサブコマンドダイヤルを回したときのコマ送り するコマ数や、コマ送りする画像の種類などを設定できます。

再生メニュー [連続撮影後の再生画像]

最後に撮影した画像が連続撮影の場合、再生メニューの[連 続撮影後の再生画像]で画像を再生したときに連続撮影した 最初のコマまたは最後のコマのどちらを表示するかを設定で きます。



● ピントを素早く確認するには

次の操作を行うと画像が拡大表示され、ピントが確認しやすくな ります。

マルチセレク ターの中央ボ タンを押す	撮影時のフォーカスポイン トを中心にして撮影画像を 拡大できます。もう一度 中 央ボタンを押すと元の表示 に戻ります。
画面をダブル タップする	タッチした場所を中心に拡 大表示されます。もう一度 画面を素早く2回タッチす ると元の表示に戻ります。
画面を広げる・ つまむ動作を する	画像モニターで広げる操作 をすると拡大表示し、つま む操作をすると拡大率が下 がります。1 コマ表示中に つまむ操作をすると、サム ネイル表示されます。
역/ Q≅(\$) ボタンを押す	 ♥ ボタンを押すごとに拡大 率が上がり、 ♥☎ (\$) ボタンを押すごとに拡大率が下がります。

- ・カスタムメニュー f2 [中央ボタンの機能] > [再生モード] > [拡 大画面との切り換え] を選んで ④ を押すと、画像モニターをダ ブルタップしたときとマルチセレクターの中央ボタンを押した ときの拡大率を [低倍率 (50%)]、[等倍 (100%)]、[高倍率 (200%)] から選べます。
- ・拡大表示中にメインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡 大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します。画面下部に表 示される ◀▶ をタッチしても画像を切り換えられます。

表示する顔を切り換える

カメラが人物の顔を認識した場合に 拡大表示すると、画面右下のナビ ゲーションウィンドウに白枠が表示 されます。操作ガイドをタッチする かサブコマンドダイヤルを回すと、 認識した顔に順次移動します。



フォーカスポイントを表示させる

再生メニュー [再生画面設定]の [フォーカスポイント]のチェック ボックスをオン ☑ にすると、撮影時 に選んだフォーカスポイントまたは ピント合わせに使用したフォーカス ポイントを再生画像に表示できます。



必要な画像に印をつけるには

プロテクトアイコンをつける

画像の再生中に On (四/?) ボタンを 押すと、ブロテクトアイコン M が表 示されます。カスタムメニュー4 [コ マンドダイヤルの設定] > [ブコマン ドダイヤルで画像送り] > [ブロテクト] に設定すると、サブコマンドダイヤル を回したときにブロテクトを付けた画 像だけをコマ送りして表示します。



レーティングを設定する

画像に再生中に*i*ボタンを押して、*i* メニューから[*レーティング5*]を選 択すると、画像にレーティングを付け ることができます。レーティングを付け る大★★★★ ~★、星なし、5(削除候 補)から選べます。プロテクトした画 像にはレーティングを設定できません。



- Fn2 ボタンを押してレーティングを設定する -

カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] で[Fn2 ボタン] を [レーティング] に設定している場合、再生画面で Fn2 ボ タンを押しながら ④ または ④ を押してレーティングを設定 できます。 画像に設定したレーティングは、パソコンに転送して ViewNX-i や Capture NX-D などで確認できます。レーティングによるソー トも可能です。





画像に IPTC 情報、画像コメント、 著作権情報を添付したい

このカメラでは、カメラのセットアップメニューの[IPTC]、[画 像コメント]、[著作権情報]を使ってそれぞれの情報を画像に添 付できます。



 文字や数字などはタッチ操作で入力が できます。



HTTP サーバーモードの「文字情報編集」 について

このカメラのネットワーク機能で ある HTTP サーバーモードを使用 すると、「文字情報編集」でパソ コンまたは iOS、Android 端末か ら、IPTC プリセット、画像コメ ント、著作権情報の入力ができま す。なお、IPTC プリセットでは、



半角英数文字以外の入力も可能となります(一部の項目を除く)。 その場合、カメラでは半角英数字のみ表示されるため、その他の 文字はカメラでは伏せ文字で表示されますが、パソコンでは正し く表示されます。

● IPTC プリセットについて

カメラに登録した IPTC ブリセットは、再生時に @ ボタンを押し ながらマルチセレクターの @ を押すと一覧表示されます。添付す る IPTC ブリセットを選んで @ ボタンを押すと、表示中の静止画 に添付されます。

IPTC プリセットをパソコンで作成する

IPTC プリヤット登録用ソフト ウェア IPTC Preset Manager を使うと、パソコンで IPTC プリセットを作成して、メ モリーカードに保存できま す。カメラでは半角英数字の み表示されるため、その他の 文字はカメラでは伏せ文字で 表示されますが、IPTC プリ セットを添付した画像をパソ コンで表示すると、正しく 表示されます。IPTC Preset Manager は、下記ホームペー ジからダウンロードしてイ ンストールできます。IPTC Preset Manager の使用方法 は、IPTC Preset Manager の ヘルプを参照してください。



2 IFTC Preset Manager ver1.0						-		×
77	(*) 🔛 イル観込 ファイル保持・	<u>्र</u> इत्दर्वप्रह	en alterate		815419	日本語	-	٠
	Profile	Unused						Т
	Profile Commont							
	Caption							I
	Event ID							
	Headline							
	Object Name							
	Category							
	Credit							

http://downloadcenter.nikonimglib.com/

送信できている画像なのかを パソコン上で確認したい

ワイヤレストランスミッター WT-7 を 使用して FTP サーバーに画像を送信し た場合、カメラの画像モニター上では 画像送信マークの色によって送信済み の画像かどうかを判別することができ ますが、パソコン上では送信マークは 表示されないため判別ができません。

セットアップメニュー [ネットワーク] > [オプション] > [送信記録の保存] を [する] に設定すると、画像が送信され た日時をメモリーカード内の画像に記 録します。

た日時をメモリーカード内の画像 録します。 上記の設定を行ったカメ うから送信した画像を、 20

ViewNX-i、Capture NX-D を使用してパソコンで開く と、ファイル情報に送信日が 表示されます。その画像をカ メラで送信したかどうかを確 認するときに便利です。



- ・送信日時の情報は画像送信後に画像に記録されるため、受信者側では送信日時の情報は確認できません。
- ・ ViewNX-i、Capture NX-Dは最新版のものをお使いください。

送信済みマーク(青色)









このカメラでは、別売ワイヤ レスリモートコントローラー WR-1 または WR-R10 を使用 することで、撮影しているカ メラ(マスターカメラ)から 離れたところに置いたカメラ



(リモートカメラ)のシャッターをきることができます。

- このカメラに WR-R10 を装着するには、WR 用変換アダプ ター WR-A10 が必要です。
- ワイヤレスリモートコントローラーの接続設定方法については、ワイヤレスリモートコントローラーの使用説明書をご覧ください。

● 連動レリーズモード設定について

カスタムメニューd4 [連動レリーズモー ド設定] で、マスターカメラのシャッ ターをきったときにリモートカメラの シャッターを連動してきるかどうかを 設定できます。



- カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能](P.6) で Pv、Fn1、 サブセレクター中央、またはレンズのフォーカス作動ボタンに [連動レリーズ切り換え]を割り当てられます。設定できる内容 は、d4 [連動レリーズモード設定]により異なります。
- ・ d4 [連動レリーズモード設定] と f1 [連動レリーズ切り換え]
 の設定を組み合わせることで、シーンに合ったリモート撮影が可能です。

影	定	シャッターがきれるカメラ				
d4 [連動レ リーズモー ド設定]	f1 [連動レ リーズ切り 換え]	シャッターボタン を押したとき	カスタムボタン [*] を押 しながらシャッター ボタンを押したとき			
「油動すろ〕	[マスター カメラのみ]					
「注新」うる」	[リモートカ メラのみ レリーズ]					
〔連動	[マスターと リモートが 連動]	→ →				
しない]	[リモートカ メラのみ レリーズ]					

※ f1 [連動レリーズ切り換え] を割り当てたボタン

複数のカメラのシャッターをリモートできりたい

使用例: サッカーでシュートシーンのみマスター カメラとリモートカメラの両方で撮影したい

通常はマスターカメラでのみ撮影を行い、シュートシーンのみゴー ル裏に設置したリモートカメラで撮影したい場合は次のように設 定します。

d4	[連動レリーズモード設定]	[連動しない]
f1	[カスタムボタンの機能] >	[マスターとリモートが連動]
	[連動レリーズ切り換え]	

■ シャッターボタンのみを押した場合

マスターカメラのみ撮影し、リモートカメラは撮影しません。



シャッターボタンと [連動レリーズ切り換え] を割り当て たボタンを押した場合

マスターカメラとリモートカメラ両方で撮影します。



● 連動レリーズで撮影した画像の送信について



- ワイヤレストランスミッター WT-7 を画像送信モードに設定し、 WR-1 または WR-R10 で連動レリーズを行うことで、マスター およびリモートカメラで撮影した画像をパソコン、または FTP サーバーに転送できます。
- 動作モードは、[FTP 画像送信モード]または [PC 画像送信モー ド] に設定する必要があります。
- セットアップメニュー [ネットワーク] > [オプション] > [撮影後自動送信] を [する] に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。カメラと無線 LAN または有線 LAN を組み合わせて使用する場合は、必ず [する] に設定してください。
- ワイヤレストランスミッター WT-7 の接続設定方法については、
 WT-7 の使用説明書をご覧ください。

複数のカメラのシャッターをリモートできりたい

- 連動レリーズを行う場合のご注意 —

- ・天候や電波状況により、通信距離が短くなる場合があります。
- リモートカメラを地面近くに設置すると、電波が届きにくくなります。
- 複数の電波が飛び交っている場所や人ごみの中では、電波 が届きにくい場合があります。
- ワイヤレスリモートコントローラーをお使いいただく場合 は、WR-R10ならびにWR-1のファームウェアを最新版に バージョンアップしてください。ファームウェアのバージョ ンアップ方法については、当社のホームページでご確認く ださい。